



2011年6月9日

報道関係者各位

楽天証券株式会社

今夏、東京証券取引所に上場する ETNをネット証券で初めて取扱い開始

楽天証券株式会社（代表取締役社長：楠 雄治、本社：東京都品川区）は、今夏、東京証券取引所（以下「東証」）で取扱いを開始するETNを上場第1号銘柄から取扱いを開始いたします。

ETNとは、「Exchange Traded Note（債券）」の略で、上場投資証券や指標連動証券とも呼ばれます。ETF（Exchange Traded Fund：上場投資信託）とは違い、裏づけ資産を保有しないことが大きな特徴です。これにより、例えば農産物や原油などのエネルギー資源、新興国の通貨に連動する商品など、裏づけ資産の保有が難しい指標での組成が期待されています。個人投資家にとっては、これまで以上に投資の選択肢が増えることとなります。

ETNは、市場に上場する投資商品のため、注文方法や取引手数料、売却時における税金などは、従来の上場株式と同じです。

今回、東証が2011年1月28日（金）の記者会見でETNの取扱い開始を発表し、この夏に第1号となる銘柄が上場を予定していることで注目を集めています。楽天証券では、上場当日より当該ETNの取扱いを開始する予定です。また、今回の取扱いに合わせ、特集コンテンツの公開やネットセミナーなどで、個人投資家に対し、ETNの認知向上に努めてまいります。

楽天証券では、新しい分野の商品を積極的に取り扱うだけでなく、個人投資家の投資知識の一助となるコンテンツを拡充することで顧客基盤の拡大を図ってまいります。

【手数料等およびリスクの説明について】

弊社の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ホームページの「[投資にかかる手数料等およびリスク](#)」ページに記載されている内容や契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

商号等：楽天証券株式会社（[楽天証券ホームページ](#)）

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会